

大福茶の由来

今から千年余り前、都に疫病が流行した時に、高僧空也上人が十一面観音像を刻み観音に供えたお茶を病人に与えると疫病が平癒しました。

村上天皇がこれを聞き召され、宮中の吉例行事として年の始めにお茶を服すようになられたそうです。これは「王服」と呼ばれていましたが、何時の間にか「大福」と云われる様になりました。